

飯島団地自治会（横浜市栄区飯島町）

平成23年度の取組み（実施期間 H23. 12. 14～H24. 3. 26）

①健康維持・認知症対策

- 認知症勉強会
- 健康体操
- 健康麻雀

②災害時対策の充実

- 地域防災拠点訓練の中で災害時要援護者安否確認を新たに行う。

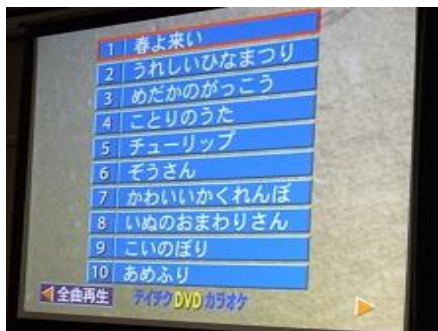
平成24・25年度の取組み（H24. 3. 27～H25. 9. 27訪問日）

①健康マージャンを定例化

- 頻度：月1回第2金曜日
13:30～16:00
- 参加者：大部分が女性。3卓。
各卓に2名の指導者をつける。
- 内容：全くの初心者も、トランプ感覚で楽しんでいる。麻雀に参加しない人もおしゃべりを楽しんでいる。

②歌声サークルを立ち上げ

- 頻度：第3、第4金曜日
13時30分～16時
- 参加者：30名ほど参加。
杖をついている人も少なくない。
- 内容：基本は全員で合唱するスタイル。
童謡やナツメロを歌う。
希望者があれば一人で希望する曲を歌うこともある。



③健康体操

- 健康体操を継続
- 夏休み（7月29日～8月31日）にラジオ体操実施。
毎日、小学生約20名、高齢者等約100名参加。

④災害時対策

- 地域防災拠点訓練の中で災害時要援護者安否確認訓練を継続している



平成26年度の取組み

- 昨年度までと同じ。

成果・反響

《平成25年》

- 新たに始めた歌声サロン、健康マージャンに、今まで行事に参加しなかった新しい人も加わった。参加者同士で誘い合ってきてくれるようになった。
- 夏休みのラジオ体操は毎日多くの方が参加した。

《平成26年》

- 健康マージャンは女性の方が大部分だが、当日は次々と集まり、楽しんでいた。
- 歌声サークルは毎回大好評である。（雨の日も）

工夫したこと・努力したこと

《平成25年度》

①交流参加の機会作り

- 一人暮らしの方が交流する機会を持てるように、参加しやすいサークルや行事を取り入れている。アンケートなどで要望があったものを企画している。
- 1ヶ月の予定表を各戸配布で知らせている、

②楽しい場づくりの工夫

- カラオケでは歌とともに映像やおしゃべりを楽しむ。
- プロジェクターで画面を大きく写すので、参加者は下を向かず前を見入っている。
- 昔の映像が使われているものもあり、子ども時代や若い頃を思い出したりして、映像から連想した話など、曲の合間のおしゃべりも弾んでいる。

③ボランティアの確保

- 平成24年8月に、ミニデイサービス（月1回開催）のボランティアの大半が年齢や体調不良を理由にやめてしまった。
- 参加者の「続けて欲しい」という声に励まされ、知り合いに声をかけたり、自治会の福祉ニュースに載せるなど、ボランティアを募った。
- ボランティアは毎月ではなくても、年に1、2回よい出られるときでよいからとお願いした。
- なんとか続けられる人数が集まった。
- ボランティアの負担軽減のため、食器を取替え、食器洗いを少なくした。
- 活動を支えるボランティアのなり手が少ないのが課題。

《平成28年度》

ラジオ体操優良団体等表彰受賞

- 毎朝、6時半より郵便局前広場にてラジオ体操を行っている。本年、ラジオ体操優良団体等表彰（府県等表彰）を受けた。

トピックス

《平成25年》

写真で記録

○自治会の行事や活動記録を、写真とともに残している。過去のものも年ごとに整理されていて、大変見やすいものとなっている。

《平成26年》

買い物が便利に

○団地内に買い物をする店がないので、高齢の方が大変困っていましたが、2013年2月より、近くの市場から無料送迎バスを1日に9便運行してもらうようになり、大変喜ばれています。

(追記)

○2016年12月末日をもって、業者（荒井市場）の撤退により無料送迎バスがなくなりました。これまで高齢者の方が便利に利用していたのに大変残念です。今後は他の方法がないか模索中です。

今後取り組みたいこと

《平成25年度》

○事業継続。新たなものの予定は今のところない。

お困りごと・課題

《平成26年度》

○花壇の水撒きや草取りを行う「フラワークラブ」があるが、メンバーの高齢化が進み、活動が大変になっている。バス通りにある花壇の水撒きは、本年より自治会環境部の人が手伝うようになった。

《平成27年度》

○高齢化が進みボランティアの人数が減って、困っている。

連絡先

住所 〒244-0842 横浜市栄区飯島町527 飯島団地自治会センター
担当者 自治会長 中村 久和
電話 045-864-9505
FAX 045-864-9506
電子メール iijimadanti@juno.ocn.ne.jp

訪問しての感想

歌声サークルでは、スタッフの方が参加者の様子を見ながら、選曲や休憩に気を配っているのがわかりました。若い男女が出てきた映像の後は、「綾小路きみまろじゃないけど『あれから40年』ねえ。」と盛り上げていました。（平成25年9月27日訪問）